

### 第3回白石町総合計画審議会 会議録（要旨）

■日 時 令和7年10月23日（木） 午後7時00分～午後8時17分

■場 所 役場3階 大会議室

■出席者 委員：14人出席

町：副町長、企画財政課職員5人

担当課長：総務課長、総合戦略課長、保健福祉課長、長寿社会課長、建設課長

○開会

【進行：企画財政課長補佐】

○会長挨拶

会長から挨拶

～資料の確認～

○審議事項

進 行：ここからは会長に会議の議長をお願いする。

会 長：（1）基本計画素案について【資料1.2.3】について

事務局：～資料をもとに説明～

会 長：事務局から説明があったが、説明のあった施策順に質問を取っていきたい。まず施策1について委員から質問・意見はないか。

委員A： 空き家対策、結婚支援策として具体的な取組はどのようなことを。また記載してもよいのでは。

総合戦略課： 具体的には、スマイルしろいし応援事業（39歳以下で住宅を取得する際に100万の補助金）や結婚推進対策（新婚生活をサポートする20万～60万：所得要件あり）などを行っています。

また、空き家対策として売却される方、購入された方両方に補助金を出すなど手厚く行っています。

委員A：この計画を見た際に、事業を知るきっかけになればいいと考えます。

委員B：現状値、目標値の記載がないが。

事務局：現段階、この成果指標でよいのか。また、別の成果指標がないかを審議していただくために、空白となっています。

委員B：現状値があれば、入れたほうが今後の審議の参考にできるかと思います。

委員C：主な取組が3つあるが、成果目標が2つしかない。結婚推進対策の成果目標は出せないのか。

総合戦略課：成果指標全般になるが、定量的に出せない場合や、本事業のように実際の数を追うことができない場合があるため、記載のないものもある。

委員D：空き家対策について利活用と記載があるが、相続された他市町に住まれている方が放置していることが根本にある。実際、近所にもそのようなケースが多い。

総合戦略課：空き家は周り近所に迷惑がかかっている、指導をしてくれという声が上がってくる。空き家対策の場合は、固定資産情報を基に通知を出すことが可能なため対応をしている。あとはリアクションの有無となる。個人の資産となるため、どれだけ手を尽くせるかが問題となってきます。

会 長：次に施策5について質問はないか。

委員D：個別避難計画の人数はどのくらいいるのか。また、対象者は駐在員や民生委員は把握されているのか。

長寿社会課：約180-190人。対象者となる避難行動要支援者の名簿は、民生委員へお渡ししている。

委員D：成果指標で策定率があるということは、作成の有無があるのか。

長寿社会課：昨年から策定しており、できるだけ100%を目指していきたい。まずは、配慮が必要となる川や山周辺の地区を中心に作成している。しかし、計画の策定について同意が得られない方も一定数居られるので100%にはならないと思う。

会 長：次に施策10について質問はないか。

委員D：買い物弱者に対する成果指標は設けられないか。どれくらいお困りごとを解決していただいたとか。

企画財政課：現在、JAで運行している“とくし丸”について需要が高いことから、近いうちに

1 台増便（福富、芦刈）で2 台体制になる予定とのこと。商店からすると、商売になる地域に出店すると思うので、アンケートに記載のあった商業施設の若干の解消につながればと思う。

総合戦略課：質問に対しての回答になるが、買い物弱者の位置付けは大変難しいところである。買い物弱者として一番多いのは、高齢者の方と考える。また、見直しをかけている地域公共交通計画の協議会についても、定時定路線のバス運行について停留所まで足を運ぶことが難しい状態であり、今後の方向性は、予約制いこかーなどの玄関から目的地までを運ぶことを重点に考えていくべきという意見が出ています。

会 長：基本目標 1 全体について質問はありませんか。

委員 E：とくし丸の件、大変喜んでおりますが、お知らせはどのような形で行うか。

企画財政課：町で行っている事業ではないので、JA さんの広報誌などであるのではと思います。

委員 E：増便してもチラシなど見ずに分からないともったいないので。

会 長：次に施策 1 1 について質問はないか。

委員 A：こども家庭庁ができて、こどもまんなか社会の実現ということで大きなテーマになっています。こども基本法が制定された中で、一番のポイントは、子供のたちの意見を聞きましょうとあるので、4 子育て支援拠点に子どもの意見箱の設置や、意見を聞くなど明確に方向性を明記してもいいかなと思います。

保健福祉課：“ゆめてらす” など、お子さん連れで利用されているので、意見などの集約をどのような方法がよいか検討させていただきます。

委員 F：アンケートにもあったが 20～30 代の子育ての意見が多く、仕事、子育て、家庭、家計（物価高）など生活基盤で町を見ているなと重なるところを多く感じた。雨天や猛暑時の遊び場についても同様に感じるころがありました。また、福富マイランド公園もよく利用していて、町内外から SNS 等でも人気がある公園と感じています。

ゆめてらすも利用させていただいて、子どもだけでなく大人も相談や、人とのつながりを持てることができるので、そのような環境は整っているなと感じています。

保健福祉課：そのように思っただき有難いと思う。今、子育てのサポートを必要とするご家庭が少しずつ増えてきている。例えば、近くに祖父母がいなくて頼れる家族がいなくて、発達障害がある子どもさんが増加傾向にあるなど、そういったところ

に手厚い支援が必要と感じている。

委員D：学童保育について、小学校の再編等も予定されており、子育てとして大きなウェイトを占めていると感じる。今後の方針について。

保健福祉課：有明小学校が来年統合予定。旧有明中学校に新しく学童保育施設を新築予定。

これまでより、子どもたちを支援する側も使い勝手が良くなると思う。

12年度には新しい白石地域の小学校が予定されているため、新たに学童施設の整備を行い充実を図っていきたい。

委員C：成果指標について、前は“子育て支援や幼児教育・保育の充実”の満足度と今回、子育て感じ方満足度と変わっているが、何かアンケート的なものがあるのか。

また、(就学前児童)と(小学生)の区分けがあり前回との違いを教えてください。

事務局：前は総合計画のアンケートから引用しており、今回は個別計画である“子ども計画”でとられているアンケートから指標の設定を行っている。

委員C：であれば、出典を記載していたほうが良いと思う。

事務局：検討します。

会 長：次に施策13について質問はないか。

委員B：最近、東分サロンが立ち上がり半年経過したが、まだまだ会員数が少ない状況にあります。そしてどこのサロンも同じだが、運営費の支援ができないか。

長寿社会課：町では、直接の金銭的支援は難しい。しかし、講師の派遣などの支援があり、今後も引き続き行っていきたい。

委員B：設立時は補助があったが、運営に対しても経費が必要です。また、老連には補助があっているが、老連に該当しないサロンについても補助を出せればと思う。

会 長：事務局のほうでもご承知していただければと。

委員B：コミュニティタクシーについて、老連の会員から自宅まで来ていただくのに2時間かかったという話を聞いた。配車等の背景があると思うがよろしく願いしたい。

総合戦略課：予約制のタクシーのお話かと思います。基本的には一時間ごとの運行となってい

る。通常のタクシーとの差別化をしないといけないということだが、2時間は待たせすぎと感じます。ここは持ち帰って運行業者との打ち合わせをさせていただきます。

会 長：ここで(1)は終了します。次に(2)その他に移ります。

事務局：～資料をもとに説明～

(今後のスケジュール・審議会委員名簿の公開について意見なし)

会 長：質問等あれば、事前に事務局に提出してもらえば、次回以降参加される課長以外にも質問の回答ができますので、あらかじめよろしくお願いします。また、自分の出身母体の内容に関する内容を確認して、各所属委員の意見を聴取して参加いただければと思います。  
よろしくお願いします。

会 長：特に質問等なければ、事務局のほうに進行を戻します。ご協力ありがとうございました。

○閉会